211976
昭和25年9月14日

2

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 183

謹啓本月四日ノ貴翰昨九日相達
聖上陛下益御昭穆被為渉候段奏案
祝候次ヽ閣下依旧常侍御忠勤趣敬矣
仕奉、陳者第三次議会開院以来情況詳
報ヲ賜リ
聖上陛下時吉ヲヽ宸慮ヲ被為悩奏旨
恐懼ノ至ヽ不堪奏就テハ将来ノ愚考密
奏可仕旨奉内諭謹テ閣下ノ所見承陳スル
ヿ左ノ如シ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 183

熟思ス本年ノ議会モ亦昨年ノ如ク終ニ錯
雑ノ間ニ僅ニ豫算ノ成立ヲ以テ萬一モ満足
スルモノトセハ改党騎虎ノ勢ハ一層激烈ノ
熱度ヲ加ヘ明年ノ會期ニ向テ迫ル教唆
誘嗾至ラサルナク地方ノ民ニハ知ラスハ識ラス其
勢力誰カ感シ公ニ憲法政治ナルモノハ独リ政
党競争勝敗ニ委シ多数壓制ノ為メニハ屈従
セサルヲ得スト為シ[illegible]自己ノ本意ニアラサルモ一時
ノ危急ヲ避ケル為メニ[illegible]勢力ヲ有スルモノニ依頼シ
テ石藩加入セサルヲ得サルニ至ルヘシ一旦石藩ヲ党

派ニ蓄ヘルモノ容易ニ脱セサルヲ得ス多数ニ對
為メニ恐敵タラサルヲ得サルヲ以テナリ如斯ノ形勢ニ
推移シテ良民ノ感情ヲ破壊シ政府ニ離反セシム
ル術策充分熟スルニ至ラハ知者アリト雖恐クハ後
ヲ善クスルモノ無カラン
両三年来ノ形勢ハ既ニ外觀ニ表スル所政府一定ノ
政策ナク官吏社会ハ四分五烈其主持スル志操ヲ
失シ何誠ヲ改党ノ者領ニ呈シ以テ他日ノ佳地ヲ豫
謀スルニ至ル故ニ政府部内ノ機密ハ一ニシテ漏洩セサ
ルモノナク改党ノ探偵ハ苦カセスシテ萬機ヲ未萌ノ

口而シテ不平ノ徒少壮ノ輩各地ニ奔走シ盛ニ流言流傳シテ以テ頻リニ之ヲ煽惑或ハ以上ノ言ヲ吹聴ス

破天荒ノ廟改論ニ熱中シ功名ヲ一賭博セントスル少壮輕躁ノ徒ハ一奉シテ政府ヲ破壊スルニ足ルト為ス而シテ之ヲ誘ヒ之ヲ逼ムルニ之ヲ駆ルニ以テ民心ニ毒害ヲ吹込ムモノハ官海ニ志ヲ得サル不平ノ徒ナリ不平ノ徒貴ナレ賤ナレ少壮ノ小事童子ノ描ク所ニ足ラスト雖モ我人民ハ尚幼稚ナリ朴實ナリ幼稚朴實ノ人民ハ素絹ノ如ク容色洋易シ民心ノ変移易速ナルヲハ警ス勝ヘサルモノアリ之ヲ今日ニ豫防矯正スルノ方法ヲ講セスンハ恐クハ臍ヲ噬ム悔ヲ貽シ主憲ノ改治或ハ國家ノ元氣ヲ沮喪シ萬一モ東方大局ノ問題トシテ疾雷耳ヲ掩フヒ至ラサルノ時機ニ日殷アルニ際會セハ我國家ノ命運ヲシテ危殆ナラシムルナキヲ保シ難シ豈ニ寒心セサル可ンヤ臣等實ニ其責運ルヘカラサルモノアルヲ知ル而シテ矯正救護スルヲ得ル所以ノ者一朝姑息彌縫ノ能ス所ニアラス又タ政府ニ一致協力誠心一意維新創業規模ヲ回復シ益進取ノ勇氣ヲ鼓舞シ我國家將来ニ向テ隆運ヲ扶持シ國光ヲ宣揚スル為メニ必要缺クヘカラサルノ事業ハ振作擴張スルノ方針ヲ執リ人民ヲシテ國是ノ確乎不拔ニシテ感動

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 183

大ヘカラサルモノアルヲ知ラレメ以テ今日ノ空氣ヲ一掃スル
第一ノ急務ナリ
目下議會ニ對スル政策ニ至テハ廟堂自カラ盛質大
カラン若シ議会ニシテ国家ノ為ヲ度外視シ徒ニ政
府ニ反對スルカ為メニ終ニ擾ニ底止スル所ヲ知ラサレハ解
散素ヨリ論ヲ俟タス一轉シテ却テ衆庶ノ耳目ヲ一新
シ政府威信ヲ示メスニ足ルモノアラン
国家ノ隆運ヲ扶持シ国光ヲ宣揚スル為メニ必要ナル
変革ノ綱領施政ノ緩急順序ニ至テハ他日拝謁ノ
時機ニ於テ上陳スルノ栄ヲ賜ハラン事ヲ謹請ス恭シク

三

聖諭ヲ奉シ愚衷ヲ開陳スル為ニ顧ミ御奏上アラン事
誠惶頓首

十二月十四

徳大寺侍従長閣下

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 183

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 183